

# 現場レベルで行う「金を掛けず、知恵をだして」推進する異物対策 クリーン化・異物対策の実践ポイントと その事例

～ クリーン化の原則、設備・装置・備品と取扱い、静電気対策、クリーン化活動の定着 ～

- ・クリーンルームの有無に関わらず、費用をかけず異物対策に取り組む方法を紹介する講座！
- ・厳しさが増すクリーン化要求に応じるためのポイントを学び、効果的な異物対策、現場のクリーン化活動定着に活かそう！

**日時** 2022年10月7日(金) 10:00～17:00  
(9:30 受付開始)

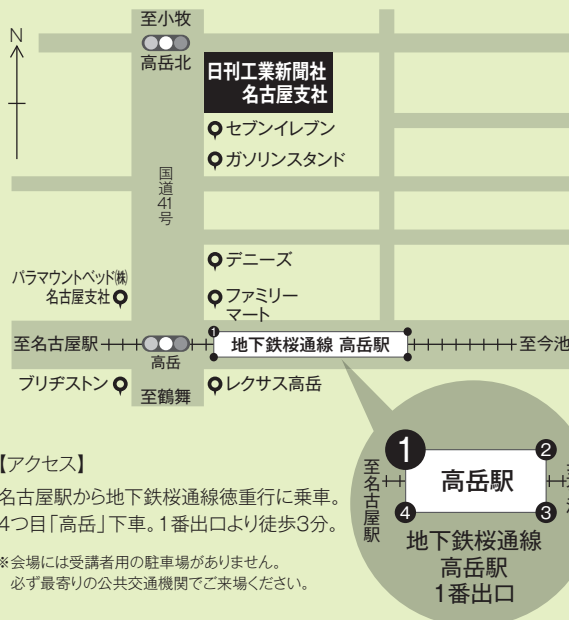
※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

**会場** 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

**受講料** 44,000円 (資料含む、消費税込)  
\*同時複数人数のお申し込みは2人目から39,600円

※追加申込の際は備考欄に「複数割引適用希望」とご記載ください。  
(記載が無い場合は通常料金のご請求となる場合がございます。予めご了承ください)  
※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。但し割引対象が重なる場合は、どちらか一つの割引を適用させていただきます。

## 日刊工業新聞社 名古屋支社 会場案内図



**【アクセス】**  
名古屋駅から地下鉄桜通線徳重行に乗り、4つ目「高岳」下車。1番出口より徒歩3分。

※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。

## セミナー申込を検討中の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催及び対応について、弊社WEBサイトにてご確認ください。

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/view/3693>

## 受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

## お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

## 受講料

セミナー開催日1週間前までに銀行振込にてお支払いください。振込手数料は貴社でご負担願います。

## キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

**申込・問合せ** 日刊工業新聞社 名古屋支社 イベントG  
TEL 052 (931) 6158 (直通) FAX 052 (931) 6159

<b>受講申込書</b>	10/7 クリーン化		お申し込みは <input type="text" value="日刊工業 セミナー"/>	<input type="text" value="Q"/>
	<a href="https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search">https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search</a>			
会社名	フリガナ		業種	
氏名	フリガナ	部署・役職	TEL	
所在地	〒		FAX	
備考			E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> 日本金型工業会正会員 <input type="checkbox"/> 中部プラスチック連合会正会員	

# 開催主旨

モノづくりとして、高付加価値の製品を実現する高精度・高密度品の製造では、異物の存在が問題となります。特に目に見えない微細な異物については、異物対策に対する知識と技術が必須です。

本講では、目に見えない程度の異物を対策するクリーン化活動について、活動を実践する立場から、種々の事例を基に具体的な活動のポイントを説明します。クリーンルームは無いがもう少し異物の影響を減らしたい。クリーンルームはあるが異物対策をもう一歩進めたい。具体的にどのような活動をすればよいか分からない。掃除の仕方や道具を知りたい。クリーン化活動を継続・定着させたい・・・と言った方々に、現場レベルで行う「金を掛けず、知恵をだして」推進する異物対策を紹介します。講師の、これまでの経験で得た具体的な事例がお役に立てば幸いです。

## 講師

熊田技術士事務所 **熊田 成人** 氏

**【略歴】** 1977年、(株)日立製作所に入社。半導体製造部門の製造現場で、歩留・品質向上や生産性向上を担当。その後分社化した(株)日立ディスプレイズにて、ものづくり改革、強い現場づくりを推進。その一環として歩留を左右する異物の低減対策を主導した。併せて、海外を含めた製造拠点や社外の部品製造会社などで異物低減対策を指導し、組み立て工程など多くの現場にて異物低減に貢献した。退職後、技術士事務所を開設。コンサルタント業務の他、クリーン化対策、品質工学(タグチメソッド)、信頼性設計、新人教育などのセミナーを実施中。技術士(経営工学)、ISO9001審査員補、ESDコーディネータ

## プログラム

### 1. 日本の製造業を取り巻く環境と クリーン化の必要性

- 3.5 異物と気流の可視化
- 3.6 清掃の活動と清掃の為の道具
- 3.7 人の行動と人にまつわる用品

### 2. クリーン化技術の基礎

- 2.1 5Sの影響
- 2.2 微細な異物の特徴と挙動
- 2.3 どの程度の気流で金属異物は動くか
- 2.4 クリーン度の規格とは
- 2.5 クリーン化のためのキーワード：  
クリーン化4原則

### 4. クリーンルームを使わないクリーン化

### 5. クリーン化対策実践事例

### 6. クリーン化活動の継続と 更なる発展のために

- 6.1 顧客の厳しいダメ出しから始まった
- 6.2 組織
- 6.3 5S・改善・小集団活動との結びつき  
～ハインリッヒの法則と常に進化する  
「当たり前」～
- 6.4 知恵だしのプロセス(SECIプロセス)
- 6.5 定着化

### 3. クリーン化の為の設備・装置・ 備品と取り扱いのポイント

- 3.1 クリーンルーム・クリーンエリアの  
目的と構造
- 3.2 クリーンルームを構成する部材と取り扱い
- 3.3 クリーンルーム内に設置する設備・  
装置の取り扱い
- 3.4 静電気対策

### 7. まとめ